

青少年とくしま



SEISHONEN TOKUSHIMA

発行 青少年育成徳島県民会議

〒770-8570 徳島市万代町1-1 徳島県こども未来部男女参画・青少年課内
TEL.(088) 621-2204 / FAX.(088) 621-2843 E-mail seinen@mail.pref.tokushima.lg.jp
(令和7年4月1日より課名が変わりました)

令和7年4月1日

——— 子どもの笑い声は、社会の活力! いつも「こどもまんなか」 ———



すべてのこどもが笑顔になれる「とくしま」の実現に向けて

青少年育成徳島県民会議
会長 後藤田 正純

皆様におかれましては、日頃から青少年の健全育成活動に多大なご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

青少年は「とくしま」の未来を担う大切な存在であり、その健やかな成長は、私たち県民すべての願いです。しかしながら、こどもの貧困や児童虐待、さらにはSNSの利用による青少年の犯罪被害といった青少年をめぐる問題が深刻化・多様化しております。

こうした中、国においては、令和5年12月に「こども基本法」に基づく「こども大綱」が策定され、こどもの最善の利益を第一として、こどもの視点に立った当事者目線の政策に取り組んでおり、県においては、令和7年3月に、約3,000人のこどもの意見を

反映した「徳島県こども計画」を策定し、実効性のあつても施策を実施しているところです。

そこで、当県民会議におきましても、親子の絆を深める「家庭の日」運動をはじめ、青少年の自立心・社会性を育む「少年の日」運動や地域自然体験活動の充実を図るとともに、すべてのこどもが笑顔になれる「こどもまんなかとくしま」の実現に向けた青少年育成事業を展開して参る所存です。

今後とも、各市町村民会議をはじめ、関係機関や家庭、学校、地域と連携しながら積極的な支援を行い、青少年が未来への夢と希望を持てる社会を目指して活動を進めて参りますので、力強いご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

青少年育成運動のはじまり

青少年の健全な育成を目指す県民運動の推進母体となる「青少年育成徳島県民会議」が結成されたのは、昭和41年です。昭和40年、中央青少年問題協議会が総理大臣に提出した「青少年非行対策に関する意見具申」で、年々増加していく当時の青少年非行の実態を憂い、行政による総合的な対策の必要性と青少年の非行問題解決のためには国民的な協力が必要であることが強調されました。

この意見具申がきっかけとなり、政府は国民運動の提唱を閣議決定し、これをもとに昭和41年に青少年育成徳島県民会議が結成され、さらに、各都道府県に同種の組織、つまり、青少年育成県民会議が結成されました。

これが青少年育成運動のはじまりと言えます。

県民運動推進活性化活動事業

参加者
81名

令和6年度青少年育成徳島県民会議総会開催

令和6年7月23日（火）

とくぎんトモニプラザ（県青少年センター）大会議室

令和6年度青少年育成徳島県民会議総会を開催しました。

総会に先立ち、理事会が開かれ、令和5年度事業報告、収支決算報告及び役員改選（案）がすべて承認されました。

総会は、賛助会員、正会員、各市町村民会議の方々にも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。



大人ができることから始めましょう!!

自分自身を省みて、子どもたちの手本になるように努めましょう。

子どもたちと正面から向き合い、対話を深めましょう。

子どもたちを取り巻く環境を見直し、改善に立ち上がりましょう。

青少年育成徳島県民会議表彰事業



「はばたき賞」
とは…

地域において、継続的な社会参加活動などを実践している青少年、家族及び青少年団体を表彰することにより、その活動を奨励するとともに、その活動が地域活動の模範となり、社会参加活動を促進し、ひいては青少年の健全育成に対する地域の意識向上を図ることを目的としています。

令和6年度青少年育成徳島県民会議表彰「はばたき賞」受賞者

青少年の部



服部 裕斗さん

○活動の分野

地域における社会福祉活動

○活動内容

平成27年にボーイスカウト徳島第9団カブスカウト隊に入隊以来、河川等の清掃美化活動や募金活動など、積極的に日々取り組んでいる姿勢は他のスカウトの模範となっています。



青少年団体の部



徳島県立那賀高等学校防災クラブさん

○活動の分野

地域における社会福祉活動

○活動内容

那賀町社会福祉協議会や学校等と連携し、地域住民と交流しながら防災活動に積極的に取り組んでいます。防災に関する動画・防災グッズ等の作成や、それらを活用した地域イベント等での防災啓発活動を通じて、町民の防災意識の高揚に貢献しています。



青少年団体の部



一般社団法人 うみのこてらすさん

○活動の分野

地域における社会福祉活動

○活動内容

令和2年8月に活動を開始し、令和4年9月から不登校児童生徒向けの居場所を週1回開設しています。令和5年6月からは牟岐町社会福祉協議会と協力して月1回こども食堂を実施しています。大学生の代表と地域の方々が協力し、学校・行政・社会福祉協議会等とのネットワークを築きながら居場所事業、まちのつながり事業を行い、地域に根ざした活動に取り組んでいます。



徳島県 子ども・若者総合相談センター

相談時間 毎週 月・水・木・金・土 (10:00～12:00 / 13:00～17:00)

※火曜日が祝日の場合の翌日の水曜日と年末年始を除く

電話番号 088-626-6188

☆相談内容によっては、県内の関係機関を紹介させていただく場合もあります。
☆面談での相談をご希望の場合は事前に予約が必要です。

相談料
無料

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示 1-1 アスティとくしま 2階 子育て総合支援センター「みらい」内

～豊かな心と生きる力を育む家庭づくりのために～

家庭は、幼児から老人に至るまで人間が生涯にわたって協力し、助け合いながら生活を営み、安らぎを得、活力を養い、学び合う場であり、特に子どもにとって家庭や親の与える影響は極めて大きいものです。

近年、家庭における親と子の関係が、生活様式の変化の中で多様化し、対話不足を始め多くの問題を抱える状況が見られ、家庭での親子のふれあいを高める場と機会を増やしていくことが必要となっています。

そこで、青少年育成徳島県民会議では、青少年と家族・地域の人達が共通のテーマのもと、率直に語り合い、相互理解を深めるための場を提供するとともに、共同作業を通して親子でふれあい、お互いの絆を強めていく、また、家族同士の交流を図る等、明るい家庭を推進するための事業を実施しています。

親と子のふれあいフォーラム

令和6年11月6日(水) 阿南市立桑野小学校

11月7日(木) 那賀町立木頭学園

語ろう、つながろう、笑顔で広げる親子と地域の絆



笑福亭學光さん

今年度の「親子のふれあいフォーラム」は、阿南市立桑野小学校と那賀町立木頭学園の２校で開催しました。

開催日当日、桑野小学校では地域の方と一緒に育てたさつまいもの試食会、木頭学園では参観日が併せて実施されており、多くの保護者や地域の方が学校を訪れていました。

徳島県立総合教育センターの谷アドバイザーからは、「これからの時代は、様々な人たちと協力しながら共に取り組み、自分の良さや可能性を活かして、よりよく生きていこうとする力が大切になってきます。予測が困難で変化が激しいといわれているこれからの時代で、主体的に未来を切り開いていくために、まずは親子で向き合い、たくさん話をして、思いや考えを伝えあっていただけたらと思います。」とお話がありました。

徳島県出身の落語家 笑福亭學光さんによる落語や腹話術では、學光さんから落語の豆知識を教わり、次第に落語の世界に引き込まれ、会場全体が笑顔と笑い声にあふれました。

また、學光さんは周りの人に相談したことがきっかけで腹話術に出会い、現在の活動に繋がったことなど、自身の経験をもとに「落ち込んだ時には誰かが助けてくれる。答えがない時もヒントはくれる。皆さんもこれからいろんな人に出会ったりいろんなことで悩んだりすると思いますが、助けてくれる人はたくさんいます。これから、学校でも大きくなって、人をけなしたり馬鹿にしたりせず、自分から笑いを生んでくれたらありがたいです。」と語りかけてくれました。



先生が落語に挑戦!!

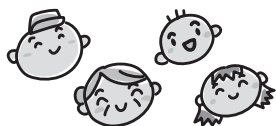
意見交換会では、児童から保護者へ、保護者から児童へ、日頃言い出しづらいことや要望など、活発な意見交換がありました。最後に谷アドバイザーから「これからも、親子



意見交換会

で話をして、人を馬鹿にした笑いではなく、今日のような笑顔が育まれていったらいいなと思います。」と締めくくられ、親子が思いを伝えあうことや笑顔の大切さを教えてくれました。

このフォーラムは、児童にとっては家庭・地域との繋がりを理解し、保護者・地域の人にとっては、学校と家庭・地域が連携して子育て・地域づくりを考えていく、よいきっかけになりました。



地域の子どもは地域で守り、育てましょう

11月 子供・若者育成支援強調月間
11月1日～7日 とくしま教育週間



青少年育成事業

セブンイレブン防犯教室・お仕事体験

参加者
23名

第1回 5月25日(土)

会場 セブンイレブン 徳島勝浦川橋店

小学1年生～4年生を対象に、防犯教室とお仕事体験を開催しました。コンビニエンスストアへの駆け込み訓練や、POP作成体験、レジ打ち体験等を通して、こどもたちの安全を優先した意思決定や行動選択ができる能力を育成するとともに、働くことの意義や理解、進んで働くとする意欲や態度を育みました。



子ども・若者支援のためのコーディネーター養成講座

参加者
18名

第1回 11月29日(金)

会場 とくぎんトモニプラザ 大会議室

テーマ ヤングケアラー支援について
～ヤングケアラーの人生から見つめる、ケアのあり方～

幼い頃から家族のケアを担うヤングケアラーは、学校クラスの20人に1人が該当すると言われ、決して遠い存在ではありません。また、誰もがいつか、ケアをする・されると言われる時代。誰もいつかは「ケアのある人生」を歩くことになります。ヤングケアラーの声を聞くことから、学校、職場、地域などで自分たちにできること、自分たち自身がいつか向き合うケアのことについて考えました。



第2回 12月21日(土)

会場 とくぎんトモニプラザ 大会議室

テーマ 青少年のインターネット利用環境づくりについて

スマートフォンやSNSが青少年の間で急速に普及し、それらの利用に伴う犯罪被害等も生じていることから、各地域において関係機関、事業者団体が連携して取り組む必要があります。地域が自立的・継続的に青少年のインターネット利用環境づくりに関する取り組みを実施できるようにするための連携体制構築について考えました。

次世代を担う子ども・若者支援活動を目指して

徳島県青少年育成アドバイザーの会 会長 谷口 崇義

当アドバイザーの会は、平成8年に設立し今年28年を迎えました。この間、次代の郷土を担う青少年の健全な育成を図る青少年育成徳島県民会議の青少年育成団体として会員に参加しています。この中ではとくしまソーシャル・アンクル運動普及事業として、「地域のおじさん、おばさん運動」の普及、啓発として委託をうけて「きずな発見、子どものふれあい活動」を実施し、青少年センターまつりにも積極的に参画して子どものふれあい活動に取り組んでいます。また、同県民会議主催の「子ども・若者支援のためのコーディネーター養成事業」に積極的に参加して講座を修了した方を対象として新アドバイザーの会員の募

集をしています。また、犯罪のない明るい社会をめざす「社会を明るくする運動」の実行委員会会員として参加して、各種団体と一緒に連携して広報活動に参加しています。

近年の青少年を取り巻く情報環境が変化しています。子どものスマートフォンの利用では小学生が60%、中学生が90%を超える調査もあります。SNS等でのいじめ、誹謗中傷への子どもの相談では、親子間の意見相違も十分に考えられます。私たちのアドバイザーの会では、今後とも子ども・若者支援活動を地道に継続して、青少年育成活動に取り組んで参ります。

「少年の日」事業

毎月第3木曜日は、「少年の日」です。

〈 青少年活動支援事業(委託) 〉

地域の青少年自らの手により青少年団体活動の振興を図り、次代を担う青少年たちが、心身ともにたくましく成長できることを目指して事業を実施しました。



徳島県少年補導協助手連絡協議会

自立支援料理教室

令和6年12月14日(土)

令和7年1月26日(日)

2月8日(土)

参加人数：48名

活動内容：県内の児童養護施設に入所する異年齢の児童を対象に、簡単な自炊ができるよう料理体験を行いました。児童が自立に向けて、経済的で栄養価の高い献立の料理を学び、地域ボランティア等との交流を図ることができました。



徳島県母子寡婦福祉連合会

親子ミニ運動会 &
カローリング大会 2024

令和6年11月17日(日)

参加人数：29名

活動内容：親子や異年齢のこどもたちが、地域住民との活動を通して交流を深めることができました。また、母子・父子自立支援員との相談会を実施し、ひとり親家庭の様々な悩みに応じながら、アドバイスを行うことで、子育て支援を図りました。



徳島県子ども会連合会 (少年の森子ども会)

親子ふれあいキャンプ

令和6年9月21日(土)

～22日(日)

参加人数：60名

活動内容：親子で地域の方々や異年齢のこどもたちと交流することによって、こどもたちの自立心を育てることができました。また、保護者と地域の住民等との交流を図ることもでき、今後の地域での活動に期待できる取り組みとなりました。



徳島県子ども会連合会

気分爽快 ウォータースプラッシュ!!

令和6年7月14日(日)

8月10日(土)

8月11日(日)

参加人数：168名

活動内容：こども同士の活動を通じての交流や、個々が意欲的に活動に参加することにより、集団行動で養われる協調性や積極性を養うことができました。こどもたちの「やってみたい」という好奇心をくすぐる活発な活動が実施できました。



ガールスカウト徳島県連盟

冬だ! わじきに飛びだそう!

令和6年12月14日(土)

参加人数：28名

活動内容：冬の自然の中を歩き、様々な自然物を探し、発見する楽しさを感じてもらうことで、野外活動への興味・関心の向上を図ることができました。それぞれが個性を発揮し、交流を図ることで、コミュニケーション力を育む機会を提供できました。



青少年育成小松島市民会議
(小松島市青少年健全育成センター)

令和6年7月21日(日)
参加人数: 35名

親子ふれあい体験

活動内容: 寄せ植え体験を通じて、日頃関わりの少ない他校のこどもたちや保護者、親子の交流を深めることができました。また、自然の美しさや大切さを感じてもらうことで、情操面の向上や世代間交流の促進を図ることができ、今後の活動に期待できる取り組みとなりました。



那賀町青少年健全育成センター

令和6年12月22日(日)
参加人数: 31名

親子ホースセラピー

活動内容: 親子での乗馬体験や、動物とのふれあい体験、いも焼き体験を実施することにより、親子のスキンシップや参加者同士の交流に繋がり、心豊かな人への成長を促すことができる活動となりました。



徳島県民生委員児童委員協議会
(八万民生児童委員協議会)

令和6年7月27日(土)
参加人数: 66名

親子木工工作

活動内容: 木工工作を通して、地域のこどもたちに「親子の触れ合い」「地域の交流」を感じてもらい、「木」に親しみながらモノづくりの楽しさ、大切さを実感してもらうことができました。また、地域のボランティアや徳島県買方共同組合による協力があったことで、安心安全な活動を実現することができました。



徳島県民生委員児童委員協議会

夏休みこども活動

令和6年7月22日(月)
7月26日(金)
8月24日(土)
12月14日(土)
参加人数: 88名

活動内容: 夏休み中、日中保護者が在宅していない家庭も多い中、子どもたちが地域活動に参加する事で、学校生活とは違った体験で心身を育むと共に、地域住民との交流を図ることができました。今後もっと色々な行事に参加したいという声も多く、地域の活性化にもつながると期待される活動となりました。



藍住町青少年健全育成会議
(藍住町青少年相談室)

令和6年7月7日(日)
参加人数: 500名

アドプトプログラム吉野川活動

活動内容: 藍住町スポーツ少年団に加盟する団員やその保護者が、吉野川河川敷運動公園においてゴミ拾いなどの清掃活動を実施しました。異年齢のこどもや保護者が集い、共に活動ができたことで、地域の活性化や、ボランティア精神、地域活動参画への意識の醸成に寄与することが期待できる活動となりました。

第70回青少年非行防止県下中学校生徒弁論大会 令和6年度 少年の主張 徳島県大会

令和6年9月20日（金）
ときわホール（アスティとくしま2階）

次代を担う青少年が健やかに成長することは、県民すべての願いであります。

そこで、中学生が日常生活を通じて考えていることを発表し、広く一般に訴えることにより、中学生の意識を深めるとともに、青少年の健全育成と非行防止を図ることを目的とし実施いたしました。

地区大会の審査を経て選出された代表者が発表しました。



最優秀賞



温かいまなざしのある社会
阿波中学校3年 山下 智歌



優秀賞 第一席



ありがとう
阿南中学校2年 幸田 彩乃



優秀賞



自分を好きになるために
穴喰中学校3年 中口 梨緒



誰もが暮らしやすい社会のために
池田中学校3年 谷川 佳花



求められる、理解力
鳴門教育大学附属中学校2年 川原もも香



The world is connected with hearts and words
脇町中学校3年 横内 心緒



言葉が生むもの
小松島南中学校3年 多田羅愛美



私が成長するために
北島中学校2年 乾 ちとせ



見えない誰か
富田中学校2年 庄野 華央



犯罪被害者の家族から学んだこと
石井中学校2年 築地あすみ

最優秀賞

温かいまなざしのある社会

徳島県 阿波市立阿波中学校
3年 山下 智歌

私は、小さい頃から何かに失敗したり、できなかったりすることがあると、家族に「どうせ・・・」や「ほなって・・・」とネガティブな発言をしたり、不機嫌な表情や態度をとったりしていました。また、話し下手で、中学校に入学してからも友達と話をしているとき、相手にうまく伝わっているのかと不安になることがあり、そのことについて悩むことも多くありました。

もやもやとした日々を過ごすなかで、ある日、母方の祖父母を訪ねたときに、祖父が重い病気であることを知りました。祖父の口からは、会う度に「もう長くないけん。あともう少ししか生きられんわ。」という言葉が漏れてきます。死ぬことへの不安と、もっと生きたいという気持ちが入り交じったその言葉を聞くと、私は悲しくて仕方がありません。少しでも長く生きてほしいという思いが積もるばかりです。それだけでなく、ネガティブな言葉や態度をとる祖父の気持ちは、私と同じでよく分かるはずなのに、気弱になっている祖父に対してどう声かけをしたら良いのか分からず、素っ気ない態度をとる自分が情けなく、歯がゆい気持ちでいっぱいになりました。

そんなとき、ニュースで見たスローレジという取組が私の考えを変えるきっかけとなりました。たくさんレジが並ぶ中で、このスローレジでは、主に高齢者の方や体の不自由な方が、自分の後ろで順番を待つ人を気にせず、自分のペースで安心して買い物の会計ができるのです。近年、自分で会計ができ、時間短縮が図れるということで、多くのスーパーやコンビニでセルフレジが導入されています。このスローレジを導入したスーパーでは、お客さんのペースに合わせてゆっくりと会計ができることが魅力で、高齢者の方や子ども連れの方に人気を集めています。

スローレジが導入された理由の一つには、高齢者の方の成

功体験を大事にすることが挙げられています。周りの人がすべてを手伝わず、高齢者の方が、自分でできることが、自信や喜びになるからです。このような取り組みによって、自信を取り戻し、家にこもりがちだった高齢者の方が、進んで外出をしようと前向きな気持ちを高めることができたそうです。タイムパフォーマンスという言葉もあるように、現在の社会では、効率を優先し、時短になることが良いとされる風潮があるなか、スローレジのような、一人ひとりに寄り添った時間を大切にすることの取組みがあることを知りました。

また、このスローレジのニュースの映像のなかでも、レジを担当する店員の方とレジを利用する高齢者の方とのやりとりやその表情に目が釘付けになりました。レジを担当する人の温かいまなざしのもとで、自分の力で代金を支払おうとする利用者の姿はとても生き生きとしていました。

この雰囲気には、ニュースを見ているだけでその場にはいない私までも安心感を得られ、胸が熱くなる思いがしました。それとともに、私が祖父母に温かいまなざしを向けることは、うまく言葉にできなくても、気持ちや気遣いが伝わり、心が通い合った安心感のある雰囲気がつくり出せるのではないかと考えました。そして、「智歌が訪ねてきてくれると元気になるわ。」と、うれしそうな顔を見せてくれる祖父母の優しいまなざしを思い出し、これからは、明るい表情や優しい態度で祖父母に接し、温かくて元気がでてくるような雰囲気をつくることを心がけようと考えました。そんな考えが自分にもてたとき、自分の中で少し自信がわいてくることに気づきました。

私は、スローレジを担当していた人のような温かいまなざしは、現代社会における様々な問題やいじめ、非行を未然に防ぐ効果もあるのではないかと考えます。温かいまなざしや雰囲気は、互いを尊重することにつながり、一人ひとりが自分らしく自信をもって生きられる原動力になると確信します。私は、社会の一員として、私自身が誰かに温かいまなざしを向けることができる人になっていこうと思いを強くしました。



審査委員長
(鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授)
生田 雅和

どの発表も、自身の経験や学んだ情報などについて、しっかり考えたり判断を加えたりして、聞いている人に思いが伝わり、よりよい生き方や幸せな社会作りにつながる、

すばらしいものでした。また、今日のように、課題を見つけ、考え、判断し、発信する力は、予測困難なこれからの時代、未来を生きる上で、大切な力です。個性あふれる発表、本当にありがとうございました。

審査員名簿

◎審査委員長

◎ 生田 雅和	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
太田 岳留	徳島保護観察所長
森 廣一	徳島県保護司会連合会会長
松尾真千子	徳島県中学校長会会長（徳島市富田中学校長）
武市 信宏	日本放送協会徳島放送局コンテンツセンター長
竹中 英子	徳島県更生保護女性連盟会長
佐藤 一郎	徳島県青少年補導センター連絡協議会会長
海老名正規	徳島県教育委員会教育次長
熊野 宏明	徳島県警察本部生活安全部少年女性安全対策課課長

とくしまソーシャル・アンクル運動普及事業

子どもたちとのふれあい活動に参加して

徳島県青少年育成アドバイザーの会 幹事 橋本 友希

12月8日、徳島市ふれあい健康館で徳島県青少年育成アドバイザーの会による第12回きずな発見子どものふれあい活動が開催されました。この活動は、青少年育成徳島県民会議の委託事業として開催されました。参加した子どもたちは各地域の小学生、中学生と引率者約45名とアドバイザーの会会員約20名が参加しました。この活動は、子どもたちと大人が一緒になって楽しい時間を過ごし、子どもたちにとっての温かい思い出を増やすことを目的としています。

私たちは、駒回しや手裏剣投げ、お手玉、折り紙、めんこ、投げ輪、ネイルシール、ビーズでのアクセサリ作り、バルーンアート等を準備しました。午前の部では、子どもたちそれぞれが、興味のあるブースに行き、アドバイザーの会の会員から、遊び方などを教わって、一緒に遊びました。最初、子どもたちは少し緊張している様子でしたが、会員からの「〇〇と呼んでください。」といった親しみを込めた自己紹介を受けてからは、こどもたちの方から会員に対して、「これ教えて。」「やるから、見てて。」等と話しかける様子が見られました。中学生は気恥ずかしいのか、初対面である私たちとの接し方や距離感を図りかねている様子がありましたが、会員の方から話しかけると、ほっとした表

情になり、やりたいことや手伝ってほしいこと等を教えてくれました。午前の部終盤には、子どもたちそれぞれが、自分にとっての心地よい距離感で、会員と一緒に遊ぶことができていました。

楽しい昼食を全員で戴き、午後の部では、フラワーアレンジ体験をしました。会員が講師となってアドバイスのもと、子どもたちは自分の思うまま、スポンジに花を挿していました。クリスマスが近かったことから、材料は生花だけでなく、ヒイラギの実、プレゼント型の飾り等があり、クリスマスツリーを思わせるような素敵な作品が出来上がりました。材料は同じものでしたが、できあがった作品はそれぞれ印象が違っており、子どもたちはいろんな角度から自分の作品を眺めて笑顔が浮かべていました。また、他の作品を見て、「きれい。」「かわいい。」と褒めあっている子どもたちもいました。フラワーアレンジメントを通して、子どもたちは自分たちが思う「素敵」を見る形で表現することの楽しさと、素敵なことを他者と共有することの喜びを体験したのだと感じました。

人との温かい思い出を増やすことは、「自分や他者を大切にしたい。」という気持ちを育むことに繋がります。今後とも、子どもたちが温かい思い出を増やすことができるような活動を続けていきたいと思っています。

とくしま アドバイザー 通信

Vol.26

更生保護女性会の活動紹介

令和7年2月1日に第14回阿南市ボランティアフェスティバルが開催されました。私たちの阿南ひまわり更生保護女性会では、来場者に対しての赤飯とお餅を配布することを担当しました。

今年は、有志の方からもち米が多く提供され感謝しています。前日の早朝から女性会7人が集合して、お餅用のもち米25kgと赤飯用のもち米50kgを水に浸し小豆も準備しました。当日はガスコンロで蒸しました。赤飯の盛り付けは高校生のボランティアも参加していただいで会員と一緒に仕上げました。餅つきには三味線弾きのボランティア18人も参加して、地域の子どもたちもたくさん参加して、大人と子どもたちが杵を持って三味線の音に合わせてお世話になった男性の掛け声で楽しい餅つきが続きしました。だんだんと人の輪が大きくなり、子どもの保護者

徳島県青少年育成アドバイザーの会 幹事 渡辺 純子

には子どもと一緒に参加する方、写真を撮る家族や餅つきを応援する市民の笑顔が見られて、次から次へと蒸し上がったもち米を白でつきお餅が出来上がりました。

初めて餅つきに参加した小学生は、緊張していましたが、出来上がったお餅を見る顔には、得意そうな表情が見られました。阿南ひまわり更生保護女性会として今年の行事に参加して子どもたちとの思い出づくりに寄与できたことをうれしく思っています。大人になっても苦しいこともあると思いますが、今日の餅づくりの家族や地域の方々の見守る笑顔を忘れないうで欲しいと思います。私たちボランティアを通じて得ることが出来た「笑顔」を心の片隅においてももう少し頑張っていきたいと思いました。

青少年指導者養成講座での不登校問題に学んで

徳島県青少年育成アドバイザーの会 幹事 竹内 仁美

今回の講座に参加したのは、子どもや保護者の相談等に携わる仕事であり、また青少年育成アドバイザーの会員として親子に関わる機会がありますので知見を深めたいと考えたことでした。

「不登校の子が新しい一歩を踏み出す時」と題した講義で、講師は、学生時代に不登校を経験されており講演される内容は非常に感銘を受けました。その中で印象に残ったのが、不登校後まず目指すべき状態は子どもが「ヒマだな」と連呼し出すことだそうです。その時は、一歩飛躍する瞬間のようです。しかし、支援者は「学校」のことに触れずに「何がしたい?」と聞いてみるのが大事と話されていました。子どもが「ヒマ」を語れるようになるまでには、周囲が不登校になった状態の子どもを受け入れ、今いる場所を安心させることも大切だと改めて学びました。

支援者にとって、目の前の方に関わるとき今抱えている困難な状況を

改善しようと先を見据えて働きかけることをしていますが、本人の気持ちの変化やきっかけがなければ周囲が動いても難しいことがあると思います。また、一つの段階が前進すると、次に向けて希望をもっていますが、それを決めるのは本人の自己決定が必要だと改めて痛感しました。

今回の講座を通じて、不登校の子どもや困難を抱える方に長期的に見据えて関わるときは、時には「待つ」ということも大切だと思いました。そのためには、支援者の焦りから生じた支援の方向性に陥らないように、心配される予兆には迅速に対応して、しっかりとその方の人生に向き合えることも大切にしていきたいと思っています。家族以外の支援者だからこそ寄り添える言葉をみつければ、目の前の方の人生を大切にしていけることが私の目標となりました。

——とくしまソーシャル・アンクル運動——

とくしまソーシャル・アンクル運動は、青少年に深い理解と愛情を持つ指導者や育成者の協力により、地域の大人が子どもたちを温かく見守り、支援する活動を通じて「地域の子どもは地域で育てる」という気運の醸成を図るとともに、地域の連帯感と教育力を高めることをねらいとしている運動です。徳島県青少年育成アドバイザーの会で

は、青少年育成徳島県民会議からの委託を受けてこの運動のために活動を行っています。

徳島県青少年育成アドバイザーの会事務局
(徳島県青少年センター内)



賛助会員の方々の紹介



個人会員の方々 (50音順・敬称略)

安 藤 清一郎
井 坂 稔
伊 勢 悦 子
猪 尾 寿 枝
岩 寄 司 朗
馬 留 寛
大 西 智 城
大 山 真 美

片 山 茂
上 窪 和 男
國 見 聖
栗 栖 昭 雄
小 泉 和 子
白 石 勝 美
武 田 カネ子
谷 口 崇 義

谷 口 輝
坪 井 静 子
戸 倉 洲満子
殿 川 一 夫
中 村 功
西 岡 賦 文
畠 山 栄 泰
藤 井 智 子

細 川 憲 治
三 好 登美子
村 田 壽 子
百 井 一 芳
八 木 貴 美
山 本 淹 子
吉 川 英 治

法人会員の方々 (50音順・敬称略)

アース環境サービス株式会社四国支店
東海運株式会社
阿波池田ライオンズクラブ
阿波観光ホテル
株式会社阿波銀行
阿波製紙株式会社
株式会社イシイフーズ
石原金属株式会社
大塚化学株式会社徳島工場
株式会社大塚製薬工場
大塚テクノ株式会社
株式会社河野メリクロン
グランド印刷株式会社
株式会社四国銀行徳島営業部
四国電力株式会社徳島支店
セーラー広告株式会社徳島支社
大鵬薬品工業株式会社徳島工場

剛測量設計株式会社
協業組合徳島印刷センター
徳島経済振興協同組合
協同組合徳島経済フォーラム
徳島県高等学校 PTA 連合会
一般社団法人徳島県仏教会
株式会社徳島大正銀行
徳島トヨタ自動車株式会社
徳農種苗株式会社
株式会社ナカテツ徳島工場
日亜化学工業株式会社
日新器械株式会社
日本たばこ産業株式会社四国支社徳島支店
株式会社日本旅行徳島支店
平山建設株式会社
株式会社丸本



お陰様で、今年度も青少年の活動
支援を維持することができました。
ありがとうございました。
皆さんの温かいご支援に
感謝申し上げます。

賛助会員募集のお知らせ

次代を担う青少年が、心身とも健全に成長することは、県民すべての願いです。青少年育成徳島県民会議ではこの願いを実現するため青少年健全育成運動を推進しています。また、多くの方々にこの運動に参加して頂くために、賛助会員制度を設け、県民の皆様方からのご支援を賜っております。明日の郷土「徳島」を担う青少年の健全育成のため、是非ご加入くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

入会手続き・入金について

事務局から入会に必要な書類と、振込手数料のかからない振込用紙を送付させていただきます。
また、年間2種類の発刊紙やお知らせを送付させていただきます。

会費について

個人会員様… 2,000 円／1 口
法人会員様… 10,000 円／1 口
〔何口でも大丈夫です。〕

会費の使い道について

皆様からの賛助会費は、青少年育成徳島県民会議の数ある事業の中で、下記の用途に活用されています。
◇「とくしまソーシャル・アングル運動」
◇「はばたき賞の表彰」 ◇「青少年活動支援事業」(一部)

・・・青少年のこころを育てるキャンペーン・・・

毎月第1日曜日は「家庭の日」

家族でくつろいで話せる場を作りましょう!!
徳島県と青少年育成徳島県民会議では、昭和42年から毎月第1日曜日を「家庭の日」と定め、家族がお互いに理解し合える明るい家庭づくりを推進しています。

毎月第3土曜日は「少年の日」

子どもの自立の芽を育てましょう!!
昭和58年から毎月第3土曜日を「少年の日」と定め、地域における少年の自立と社会参加の促進を図るための活動を展開しています。地域の子どもは地域で育てましょう。

青少年センターまつり 2024

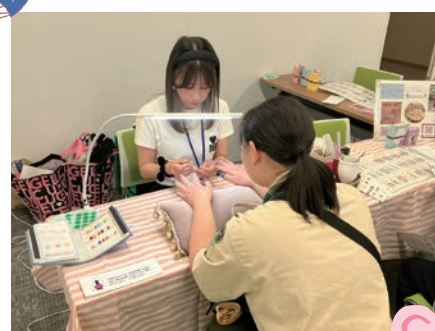
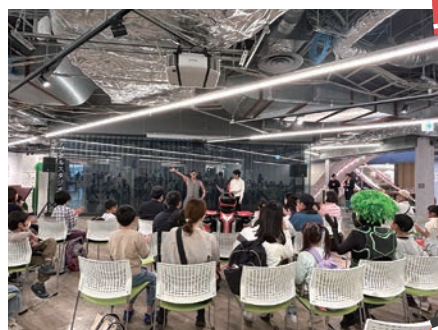
参加者
480 名

令和 7 年 3 月 22 日 (土)

とくぎんトモニプラザ (県青少年センター)

『青少年センターまつり 2024』を開催しました。

青少年センターまつりは、親子が一緒に参加できる催しを通して親子のふれあいを深めるとともに、県内で活動している青少年団体を広く知ってもらい、活動の活性化を図ることを目的として開催しております。ステージでは、徳島県内で活動している 7 団体がダンスや伝統芸能、紙芝居などを披露しました。また、こども広場では、T シャツ等の団体グッズの販売、ボードゲームや昔遊びの体験、自然物クラフトやオリジナル缶バッジ作成などのブースを設置しました。その他、e スポーツ大会なども開催し、大人から子どもまで楽しむことができるイベントとなりました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。

とくぎんトモニプラザ
(徳島県青少年センター)徳島県 とくぎんトモニプラザ
TOKUGIN TOMONY PLAZA

県民の新たな交流拠点としてアミコビルに移転し、令和4年9月にグランドオープンした徳島県青少年センター「とくぎんトモニプラザ」。スポーツや文化芸術に取り組むための設備が充実し、幅広い世代の方々が利用しています。是非、足を運んでみてください。

【ご利用案内】

- 開館時間／9：00～21：00（インターネット予約 24 時間可能）
- 休館日／第 4 水曜日、年末年始 12/29～1/3
- 駐輪場／自転車・バイクは無料（アミコラインパーク）

- 利用料／詳しくはホームページをご覧ください。
- 所在地／徳島市寺島本町西 1 丁目 5 番地 アミコビル東館 9 階・屋上
- 問合せ先／☎088-625-3852（10：00～20：00）

